

各 位

公益社団法人 日本証券アナリスト協会

東北地方太平洋沖地震被災者支援のための義援金の拠出について

当協会は、去る 10 月 14 日（金）「第 26 回日本証券アナリスト大会一よみがえれ日本・大震災を乗り越えて」を開催（参加者：昼の部 660 名、夜の部 380 名）しましたが、恒例の夜の部の懇親会については、諸般の事情を勘案し、ごく簡素なスタイルで実施するなど、大会運営全般に関し経費節減に努めました。

こうした簡素化により、例年に比しかなりの経費が節減されたため、大会運営経費節減相当額に当日の参加者からの拠出分をあわせ、下記のとおり、東北地方太平洋沖地震被災者支援のための義援金として拠出しました。なお、当協会からの義援金拠出は、3 月 28 日（1,228 万円）、6 月 28 日（998 万円）に続いて 3 回目となります。

被災された皆さまの一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

記

1. 義援金拠出額 189 万円
2. 拠出先 宮城県、岩手県、福島県へ各 60 万円
日本赤十字社へ 9 万円

以上

（備考）当協会では、これまでも震災復興に向けての各種情報発信、震災に対する特別措置、義援金の拠出を行っています（別添ご参照）。

謹んで震災のお見舞いを申し上げます。 当協会も皆様とともに復興に向けて進んで参ります。

1 復興に向けての情報発信

- ・「震災・復興に対する市場からの提言－証券アナリストの立場から－」を公表
有カアナリストの提言を取りまとめ、6月17日に公表しました。政府・地方公共団体、中央銀行等の公的機関、経済団体等に配布し、協会HPにも掲載しています。
- ・震災・復興をテーマとした講演会・セミナー・大会を開催（講演要旨は協会HP参照）
4～10月実施済み：東日本大震災後の経済見通し、東日本大震災と財政再建、レピュテーショナル・リスクの重要性、東日本大震災とコーポレートジャパン、今次大震災と生損保業界の動向、第11回夏期SAAJセミナー「今次大震災と債券投資」、大震災とエレクトロニクス業界、震災を踏まえての日本株の市場展望、震災後の日本経済の展望、福島原発事故後の原子力政策／産業動向と今後の展望、東日本大震災が日本産業へ与える影響
第26回日本証券アナリスト大会「よみがえれ日本～大震災を乗り越えて～」
震災後の不動産市場の動向と今後の見通し
- ・ジャーナル誌に復興に向けての論文・レポートを掲載
5月号：稲野会長からのメッセージ 6月号：東日本大震災後の経済見通し
7月号：日本の復興と投資家の気概 8月号：東日本大震災後の日本経済を考える視点
9月号：震災と事業債投資 10月号：特集「大震災後の経済の諸問題と日本企業の課題」
11月号：「復興ファイナンスにおける民間金融機関の役割」
12月号：証券アナリスト大会から記念講演および講演の要旨
24/1月号：証券アナリスト大会からパネル・ディスカッションの要旨を掲載予定

2 震災に対する特別措置（照会先）

- ・災害で失った通信教育教材の無料提供（E-mail education@saa.or.jp）
- ・通信教育講座の受講・受験期間の延長（同上）
- ・1次試験（4月24日）および2次試験（6月5日）を受験できなかった方への措置（同上）
- ・2011年度会費の減免措置等（E-mail member@saa.or.jp）

3 義援金に関するご報告とお礼（その7）

当協会に寄せられた義援金は、5月末に一旦締め切り、宮城県、岩手県、福島県および日本赤十字社に拠出しましたが、その後も寄せられています。ご寄付いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。

義援金は引き続き受け付けております（<http://www.saa.or.jp>をご覧ください）。

照会先：財務部長 関口幸男 <03-3666-1630>

平成23年11月

公益社団法人 日本証券アナリスト協会